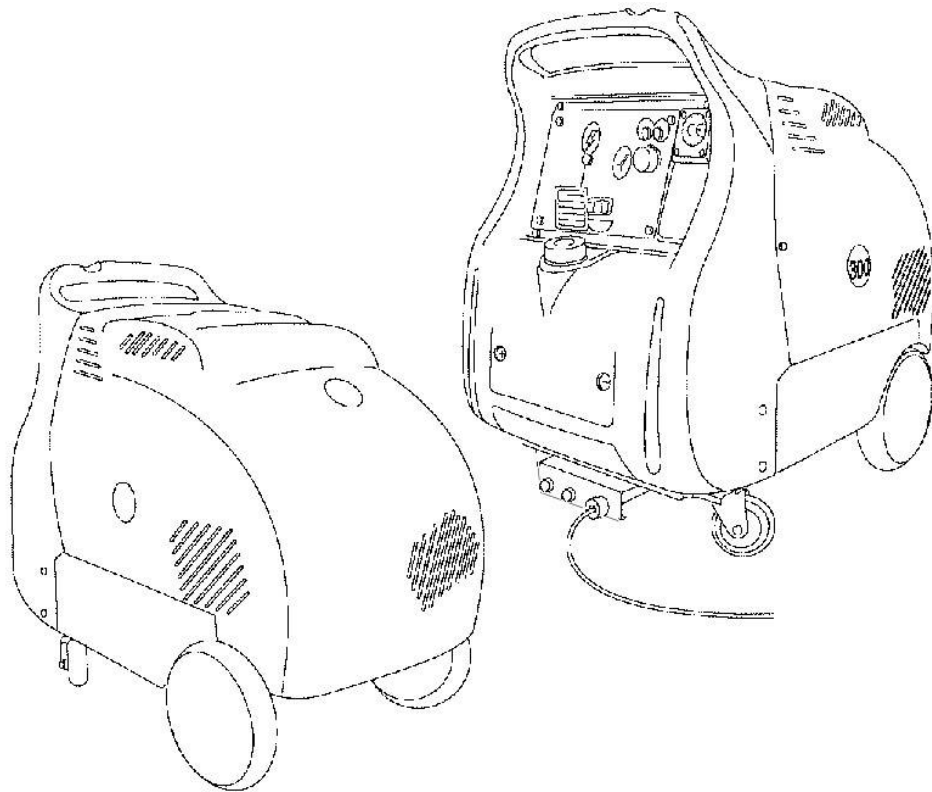


セイワ 温水ボイラー

SJB—316

取扱説明書







ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しく
お使いください。誤った取扱は機械の故障や大変な
事故につながります。

機械を操作する前にいつでも見られるように大切に
保管してください。

この度は、**SEIWA**「温水洗浄ボイラー SJB-316」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み、正しく安全にお使いください。誤った取り扱いは機械の故障や大変な事故につながります。機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保管してください。

- 当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。
- 品質、性能向上又は安全上、部品の交換を行うことがあります。その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気付きの事がございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

 危険	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が大きい事を示します。
 警告	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します
 注意	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します
 留意	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

安全のために

本機は業務用です。ご使用前に取扱説明書を読み、内容を理解した上で全ての危険、警告、注意事項を守り作業を行ってください。

また、接続する高圧洗浄機の取扱いは洗浄機の取扱説明書にしたがってください。

危険

①高圧力、高温水に注意

- 本機は高圧洗浄機と接続することで高い圧力と高温水を発生しますので絶対に人畜に向けてガンを引かないでください。
- 本機の仕様を超える洗浄機は接続しないでください。
- 本機は高温水を発生しますので吐出温水、ガンランス部、接続金具部、排気口など熱くなりますので手、身体、衣服などが触れてヤケドしないようご注意ください。
- 本機の全ての部材は耐圧規格品を使用しておりますので、純正部品、オプション部品以外での改造はしないでください。また本機、付属品は定期的に点検して摩耗破損が認められる場合には、直ちに修理交換してください。

②電気感電に注意

- ケーブルは踏んだり引っ張ったりせず大切に扱ってください
- 作業現場全ての通電部品（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に高圧水がかからないようにしてください。
- 濡れた手で通電部品を触らないでください。
- 必ずアース線を接地させてください。
- 雨天の屋外での作業には使用しないでください。
- 点検整備は電源を入れずに行ってください。

③設置場所、取り扱い上の注意

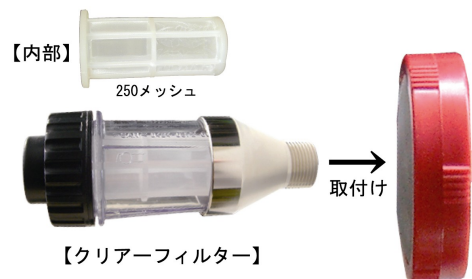
- 本機の周りに引火物をおかないでください。また、引火物が充満するような場所では使用しないでください。
- 本機のボイラーは多量の空気を必要とします。換気量が不足すると不完全燃焼がおこり非常に危険ですので十分な換気を行ってください。また、指定燃料以外は使わないでください。
- 万が一の場合の安全装置は本機の上方向に設置されています。上部が開放された空間に設置するようにしてください。
- 高圧洗浄機の排気がボイラー本機に向かないように設置してください。

【ボイラー使用上の注意点(安全に使用していただくために)】

この度は **SEIWA** ジェットボイラー「SJB-316」をご選定いただきまして誠に有り難うございます。本機を安全にご使用いただくためのポイントを下記にまとめてありますので、本書及び取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

⚠ 重要

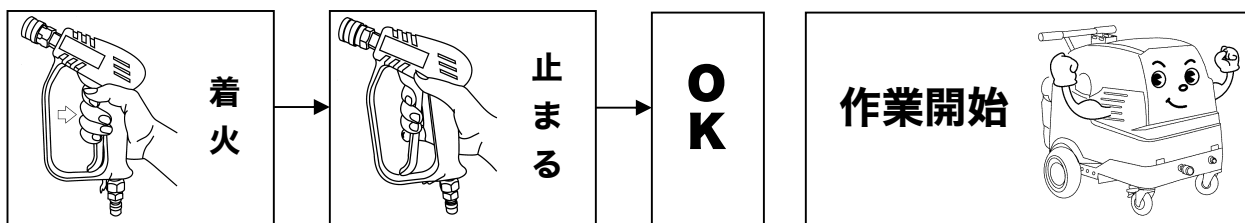
ボイラーには水流を感知するフロースイッチセットが内蔵されており、ガンを引いたときのみ着火するように制御されています。しかし、このスイッチ内部に異物が侵入するとピストンが固着し、ガンを放しても着火したままになる可能性があります。清水(水道水)を使用し、吸い込みフィルターは必ず使用してください。※(別売の目が細かいクリアフィルターなどの併用をおすすめします)



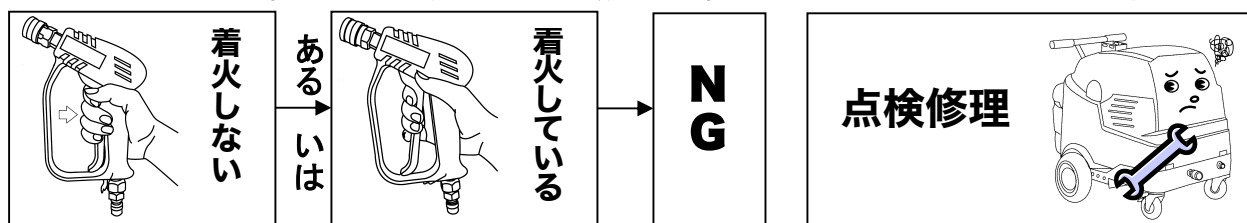
1. 作業前点検を行ってください。

●作業準備が整ったら下記のようにボイラーの作動点検を行ってください。

・ガンを握ると着火し、ガンを放すと火が止まる → **OK** → 作業開始



・ガンを握っても着火しない。あるいはガンを放しても着火している → **NG** → 点検修理



セワサービス店にご連絡ください

3. 燃料は灯油(軽油)をご使用ください。

4. ウォータハンマ(※)によるトラブルの防止のため、洗浄ホースは **80m以下** でご使用ください。

5. 使用中に異常高温になったら、ただちに使用を中止し、点検・修理をしてください。

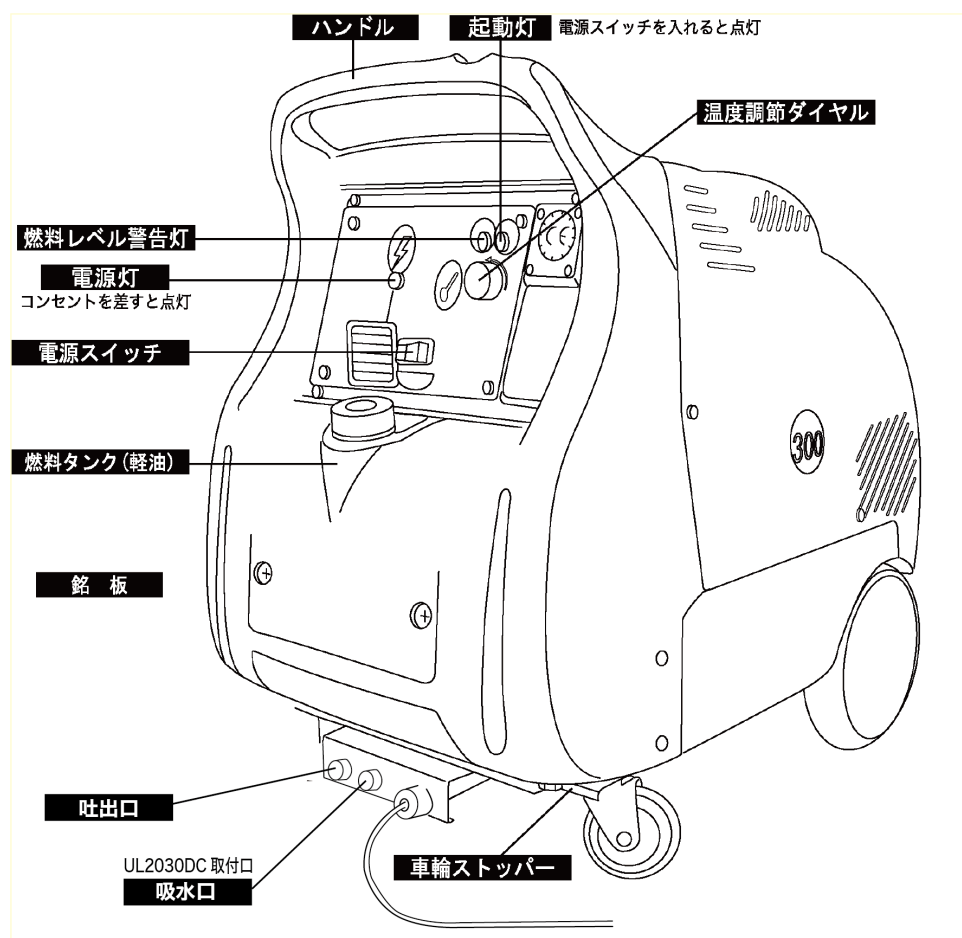
6. 取扱説明書をよく読んでください。

(※) ウォータハンマ：流水を急に止めた時に起こる反動。

1 仕様諸元表・各部名称

【仕様表】

型 式	S J B - 3 1 6
最大流量	16L/min
最高圧力	30MPa (UL 使用の場合 21MPa)
電 圧	交流 100V (50/60Hz)
最高温度	90°C
重 量	63kg
燃料タンク容量	25L
燃料タンク消費量	5.2L/h
ボイラ着火圧力	4MPa 以上
電 流	1.5A
熱 量	57000kcal
燃 料	灯油(軽油)
中間ホース長	5m
サ イ ズ	95×55×89 c m



2 作業操作手順

2-1 準備

- 1 燃料タンクに灯油(軽油)を入れます。

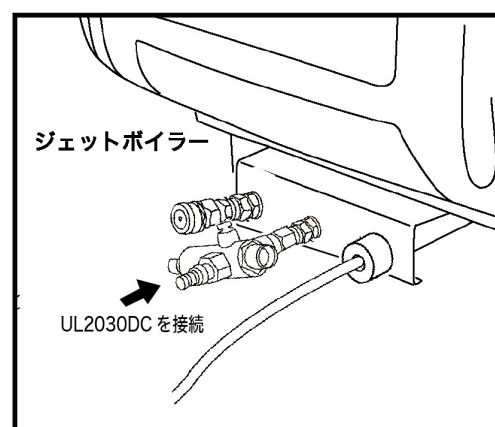
⚠注意

灯油(軽油)以外の使用は故障ばかりでなく爆発などの危険がありますので必ず灯油(軽油)を使用して下さい。
また、燃料切れは燃料ポンプの故障の原因となりますのでご注意ください。

- 2 付属のUL2030DCをボイラー入口に接続します。
(21MPa以上でご使用の場合は使用しません)

👁留意

UL-2030DCは初回のみ圧力設定が必要です。
2-2項を参照しご使用になる高圧洗浄機に合わせた設定を行って下さい。



- 3 UL2030DCの余水口に付属ホースを接続し、フィルター部を水桶に入れておきます。

- 4 付属の中間ホースで高圧洗浄機と本機の吸水口を接続します。

⚠注意

ボイラーの仕様を超える洗浄機は使用しないで下さい。

- 5 専用温水ホースを本機の吐出口に接続します。

- 6 温水ホースに洗浄ガンを接続します。
(ノズルは取り外した状態にしておきます。)

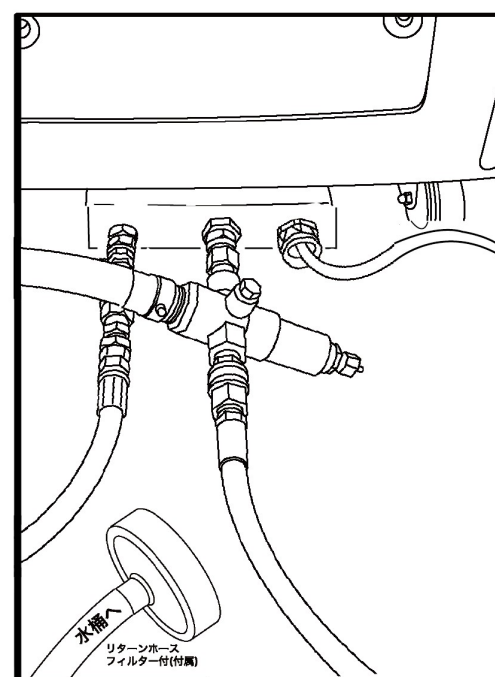
⚠注意

各部の締め付け、接続は確実に行って下さい。
水漏れなどがある場合は修理、交換して下さい。

- 7 アース線を接地して電源プラグをコンセントに接続します。

⚠注意

AC100V以外の電源の使用は機械の故障の原因となります。



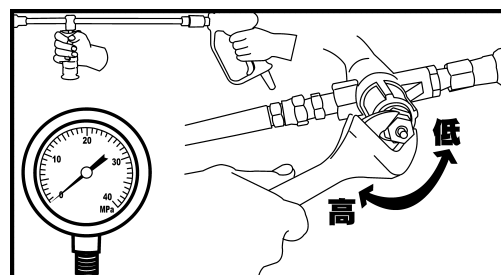
2 作業操作手順

2-2 UL2030DCの設定

UL2030DCはご使用になる高圧洗浄機にあわせた圧力設定が必要です。
初回使用(使用する洗浄機が変わる場合も含む)には下記の要領で圧力設定を行って下さい。

- 1 接続する高圧洗浄機単体にて仕様通りの性能が出ている事を確認します。
(15MPaの洗浄機なら洗浄機単体で15MPaが出ていること)
- 2 本取扱説明書の2-1項の準備を行ない2-3-2項までの始動運転を行います。

- 3 ガンを引き、洗浄機の圧力計を見ながら規定の圧力(接続する洗浄機単体の圧力)になるところまでUL2030DCの圧力調整ノブを回します。
(出荷時は最低圧力にセットされています。)



- 4 設定圧力まで上がったら、一旦圧力ノブを少し戻して、圧力が下がることを確認して下さい。この作業を数回行ない、圧力ノブの操作に合わせて圧力が変わることを確認し、締めすぎの無いように圧力ノブをセットして下さい。

注意

規定圧力以上にノブを回すと誤作動や故障の原因となります。規定圧力(使用する洗浄機の圧力)に達してからさらに締めこむ事はしないで下さい。(規定圧力の1MPa~2MPa 低めに設定すると安全です。)

- 5 圧力セットが完了したらロックナットを締めて固定し、セット完了です。

注意

- 同じ洗浄機を使用する場合は、2度目以降の圧力設定は不要です。
- 仕様の異なる洗浄機を使用する場合は一旦調整を下げ、再度機械に合わせて圧力設定を行って下さい。
- 洗浄機あるいはボイラーユニット、UL2030DCの修理を行った場合も設定を再確認して下さい。

- 6 21MPaを超える洗浄機をご使用の場合はUL2030DCは取付けず、直接ボイラーに接続してください。

2 作業操作手順

2-3 始動・運転

- 1 温度調節が最低になっている事を確認し、メインスイッチをONにします。
ブローが回転し、排気口から風が出ている事を確認して下さい。
- 2 高圧洗浄機の使用方法に従い高圧洗浄機をスタートさせて、ガン先から水が出ている事を確認します。
このときボイラー内部のススを含んだ黒い水が出る事がありますので水が透明になった事を確認してからガンを一旦停止し、ノズルを取り付けて下さい。
(ノズルをつけた状態でススを含んだ水を通すとノズルの詰まりの原因になることがあります)
- 3 温度調節ダイヤルを50℃程度にセットし、下記の作業前点検を行って下さい。

ガンを握ると着火し、ガンを放すと火が止まる⇒ OK ⇒作業開始

ガンを握っても着火しない、ガンを放しても着火している⇒ NG ⇒点検、修理

着火状態はボイラーからの燃焼音(ゴーという音)で判断できます。

⚠注意

着火しているとき、排気口からは熱風が出ますので、排気口に手を触れたり、排気口上部に手をかざさないで下さい。

- 4 作業前点検が終了したら、温度調節ダイヤルを必要な温度に設定し作業を開始して下さい。

⚠注意

短時間の着火を繰り返すとボイラー内に不燃燃料がたまり不完全燃焼の原因となりますので短時間のガンの開閉は避けてください。又、短時着火を繰り返した場合は温度設定を最高にし、30秒以上持続で燃焼させてください。

2-4 作業終了

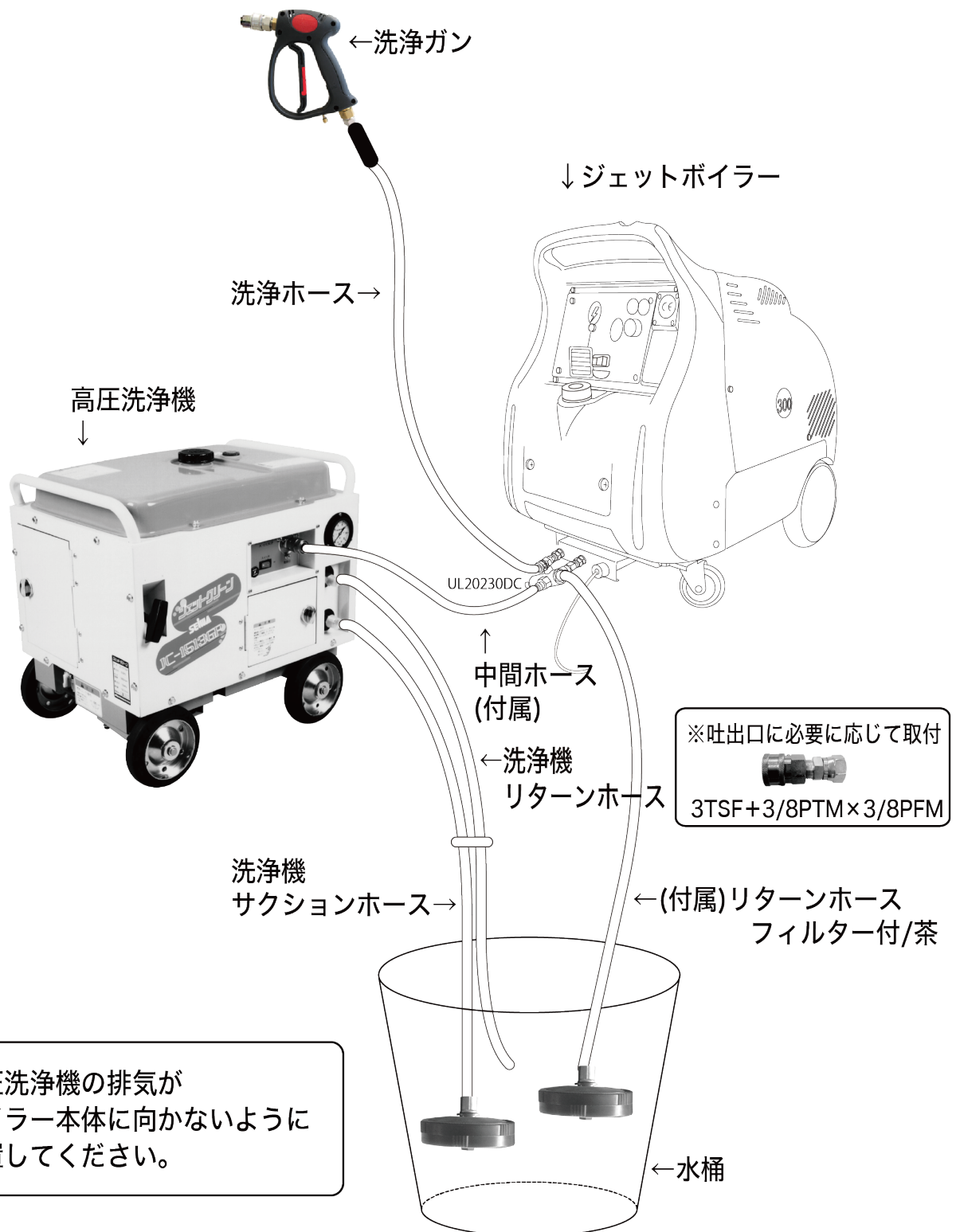
- 1 温度調節ダイヤルを0にしてボイラーを止め、数分間冷水を通してボイラー内部を冷却して下さい。
- 2 高圧洗浄機の水抜きの手順でボイラー内部の水抜きを行って下さい。
- 3 メインスイッチをOFFにし、電源コード、各配管を取り外して下さい。
(配管類、特にホースの口金部分にゴミ等が付着しないよう注意して下さい。)

2 作業操作手順

2-5 保守・点検

- 1 ボイラー(コイル)
 - 煙、ススによりコイル表面が汚れると、ボイラーの熱効率が低下します。
定期的に、または熱効率の低下が見られる場合(着火しているのに著しく温度上昇が悪い場合)は、点検清掃修理に出してください。
 - 作業終了後は凍結防止の為、エアブロー等で完全に水抜きを行って下さい。
- 2 燃料
 - 燃料フィルターの汚れを定期的に点検し、
汚れている場合は清掃して下さい。
- 3 保管
 - 雨水のあたるところに保管しないで下さい。
 - 本機の上に物を載せないで下さい。
 - 冬場はできるだけ凍結しにくいところに保管して下さい。
 - 配管内にゴミが入らないよう各金具部分は布、テープなどで保護して保管して下さい。特にホースなどは地面に直接置くと小石等が金具部分に付着する事がありますので注意して下さい。
- 4 その他
 - 作業前点検は毎回必ず行って下さい。異常が見られる場合は無理に使用せず点検修理に出して下さい。

3 接続図



4 トラブル対策

症 状	原 因	対 策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが抜けている (電源灯が消灯) ●ヒューズが切れている ●スイッチの故障、断線 ●燃料がない(警告灯が点灯) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを差し込む ●ヒューズ交換 ●スイッチ交換・修理 ●燃料を入れる
電極がスパークしない	<ul style="list-style-type: none"> ●電極隙間不良 ●ケーブルの緩み ●トランスの故障 ●プラグの磨耗 	<ul style="list-style-type: none"> ●電極の調整 ●ケーブルのはめ直し ●トランス交換 ●プラグ交換
着火しない	<ul style="list-style-type: none"> ①燃料がバイパスホースより タンクに戻っていない場合 ●燃料ポンプ故障 ●燃料配管緩み、抜け ②燃料がバイパスホースより タンクに戻っている場合 ●圧カスイッチ不良 ●流量スイッチ不良 ●サーモスタット不良 ●燃料ポンプ圧力不足 ●洗浄機または UL2030DC の 圧力調整不良 ●粗悪燃料 ●風量調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ●燃料ポンプの交換 ●燃料配管の修理 ●圧カスイッチの交換 ●流量スイッチの交換、ゴ ミ詰まりの場合は清掃 ●サーモスタットの交換 ●燃料ポンプ圧力調整 ●4MPa～20MPaの範 囲に調整 ●燃料交換 ●風量調整
煙がひどい	<ul style="list-style-type: none"> ●ボイラ内が冷えている ●ヒートコイルの汚れ ●残燃料による不完全燃焼 ●風量調整不良 ●燃料ポンプ圧力過多 ●粗悪燃料 	<ul style="list-style-type: none"> ●しばらく燃焼させる ●清掃または交換 ●長時間連続燃焼させる ●風量調整 ●燃料ポンプ圧力調整 ●燃料交換

SJB-316 の運転開始前に必ず下記空欄に必要なことからを記入してください。点検の時に大変役に立ちます。

項目	ご記入欄		
型式	SJB-316	ご購入年月日	年 月 日()
製造番号	No.	ご使用開始年月日	年 月 日()
ご購入先 (必須) ※必ずご記入ください	〒 TEL ()		

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただけますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

・登録場所/精和産業トップページ右側「保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神奈川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名古屋	453-0839	名古屋市中村区長茂町4-15	TEL 052-412-1717
大阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡山	710-0841	倉敷市堀南606-1	TEL 086-426-5200
福岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495